



稲穂

小樽市立稲穂小学校
学校だより No.5
令和8年 7月23日
文責 校長 及川 年彦

【学校の教育目標】
りこうで 稲穂小 WEB
たっしやで
ほがらかな
稲穂の子



「自分で決める、充実の28日間に」

主幹教諭 鎌田 新平

いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。1学期、子どもたちは日々の学習や行事に一生懸命取り組み、大きく成長してくれました。

今月の7月8日、6年生は修学旅行でエスコンフィールドを訪れました。最新のスタジアムの雰囲気にも子どもたちだけでなく、引率の大人たちもすっかり夢中になりました。そこで元ファイターズの選手からいただいた講話の中で、深く心に残った言葉があります。

「成功の反対は、失敗ではない。何もしないことだ」

プロの世界で挑戦を続けてこられた方の言葉には、重みと温かさがありました。失敗を恐れずに一步を踏み出すことの大切さを教えてくれました。何かに挑戦し、たとえうまくいなくても、そこには必ず学びがあります。本当に恐れるべきは、失敗をおそれて何も始めないことなのだと学びました。



明日から28日間の夏休みが始まります。「何もしないこと」を無くし、「自分で決めて、何かに行動を起こす」という経験をしてほしいです。

「気になっていた本をじっくり読み切る」「苦手な教科に自分から向き合ってみる」「家族のために毎日お風呂掃除を続ける」など、テーマは何でもかまいません。期間が限られているからこそ、自分で見通しを持って計画を立て、実際に一步を踏み出してみる。その挑戦のプロセスそのものが、子どもたちの自立心を大きく育てます。

「やってみよう！」という主体的な挑戦は、誰かに言われてやる百回の行動よりも、はるかに子どもたちを強くします。

もし、子どもたちが自分で立てた計画が途中でうまくいかなかったり、三日坊主になりそうになったりしても、それは決して悪いことではありません。「じゃあ、明日からどう工夫してみようか？」と声をかけてあげること自体が、「何もしない」を乗り越える立派な次のステップになります。結果の良し悪しだけでなく、やろうとしたその「きっかけ」や「努力の途中」を大人たちが認め、見守ることが、子どもたちの大きなエネルギーになります。

ぜひ、ご家庭でも「今年の夏休み、どんなことに挑戦してみたい？」と、お子様と一緒にワクワクしながら作戦会議を開いてみてください。子どもたちの「自分で決めて、やってみよう」きらきらとした一步を、温かく見守り、応援していただければ幸いです。

安全と健康に十分気をつけながら、ご家族でかけがえのない充実した時間をお過ごしください。

8月21日の始業式、一回りたくましくなった子どもたちと笑顔で再会できることを、教職員一同楽しみにしております。

前田 ○○ スクール・サポート・スタッフ (SSS) が着任しました

本校では、教育業務支援員 (SSS) が教職員の業務をサポートしています。教材準備や印刷、校内環境の整備などを担当し、教職員が子どもたちと関わる時間を確保することで、よりよい教育活動につなげています。

この度、4月から勤務していた川崎○○SSSが6月末日をもって退職し、7月9日付で前田○○SSSが勤務しています。子どもたちにはお昼の放送で紹介しました。週3日、午前中3時間ほどの勤務となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

第15回小樽がらす市 グラスデザインコンテストで受賞!

第15回小樽がらす市「グラスデザインコンテスト」で、本校から3名の児童が受賞するといううれしい知らせが届きました。一人一人の個性あふれる発想と創意工夫が認められた素晴らしい結果です。受賞した皆さん、おめでとうございます。今後の活躍も楽しみにしています。

なお、最優秀賞、優秀賞、入賞は市内のガラス職人によって実際に造形され、作品を第15回小樽がらす市会場にて展示した後、受賞者へ贈られます。

最優秀賞、優秀賞、入賞作品はこちらから⇒

【最優秀賞】5年1組 ○○ ○○さん
「ムキムキチャンピオンゴリラ」
【入賞】6年1組 ○○ ○○さん
「お寿司グラス」
【佳作】5年1組 ○○ ○○さん
「手と手と手」



「防災教室」の実施に向けて

7月15日(水)に第2回学校運営協議会(CS)を開催しました。学校からは、1学期の子どもたちの様子や各アンケートの速報結果、教職員による「働き方ワークショップ」を通じた業務改善の取組等について説明しました。委員の皆様からは、多くの取組に高い評価をいただき、一方、下記の「子どもの生活習慣の改善」に向けて、家庭とどのように連携していくかが課題であるとの意見が出されました。

その後、CSの新たな活動として、「防災教室」の実施について熟議しました。本校が災害時の避難所となることを踏まえ、子どもたちが防災を学ぶ意義や、地域と学校が連携して備えることの大切さについて意見を交わしました。また、「学校が避難所になることは知っている、備蓄品の内容や備えの状況を知らない人が多いのではないか」との意見もありました。

防災教室については今後さらに検討を進めますが、子どもたちの命を守る力を育むとともに、地域全体の防災意識向上につなげていきたいと考えています。



子どもたちの健やかな成長を支える生活リズムづくりに向けて

保護者アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。2学期に分析結果や改善策についてお知らせいたします。また、児童アンケート結果の分析も進めていますが、現時点で「生活習慣に関する課題」が見られることが分かってきました。特に、就寝・起床時刻の乱れやメディア利用時間の増加、朝食の欠食などの傾向があり、心身の健康や学習意欲・集中力への影響が懸念されます。

夏休みは生活リズムが崩れやすい時期です。ご家庭でも「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした規則正しい生活を心掛けていただくとともに(7月15日テトル配信の「夏休みラジオ体操」への参加もおすすめです)、生活習慣やメディア利用のルールについてお子さんと話し合う機会を設けていただければ幸いです。あわせて、本日配信した小樽市小中学校体力向上検討委員会作成の資料もぜひご覧ください。子どもたちの健やかな成長のため、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

標準学力検査(3年生・5年生)の結果と今後の取組について

3年生と5年生を対象に実施した標準学力検査(4月23日実施)の結果は、国語・算数ともに全国平均とほぼ同じ水準でした(個人票は7月16日に返却済みです)。各教科の成果(○)と課題(●)、改善策をお知らせします。

<国語>

○「話すこと・聞くこと」 特に、情報を選び整理して伝える力や、話し合いの場面で質問したり提案したりする力が身についています。

●「読むこと」 物語文や説明文を読んで、感想や考えを伝え合う力が全国より低い結果でした。

<算数>

○「数と計算」と「変化と関係」 特に、かけ算はしっかり身についています。

●「データの活用」と「図形」 グラフや角度を読み取ることと三角形をかくことが全国より低い結果でした。

<改善策>

◇各教科でICTを活用しながら、考えや感想を表現し共有する場面をつくり、協働的な学びを深めていきます。

◇国語では、本文の記述をもとに論理的に考える時間をつくることや学習用語の指導、読書活動の充実に取り組みます。

◇算数では、グラフや数直線を読み取る指導や復習を行い、学習内容の確実な定着に取り組みます。